



玖珠町長 宿利政和

玖 珠町の皆様には、清々しい新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

ここ数年、相次ぐ豪雨災害と新型コロナウイルス感染症は、本町のみならず世界中の人々の生命と財産を脅かし、経済や暮らしに大きな影響を及ぼしています。

町内の被災現場は、計画的に復旧が進んでいます。一日でも早く工事を完了させ、日々の暮らしが戻るよう、国・県の支援をいただきながら、引き続き努力してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、3回目の接種が着実に実施できるよう体制を整えております。一方、中小企業・小規模事業者・農林業など様々な分野におきましても、感染症対策と経済対策を同時に講じながら、町の活性化に向けて注力してまいります。

全国的に「デジタル化」の流れは加速していますが、玖珠町では、文部科学省が推奨する「GIGAスクール構想」に加え、地域の文化、歴史を学ぶことにも積極的に取り組んでいます。その取り組みが、高い評価を得て、「全国コミュニティ・スクール研究大会」が、今年秋に玖珠町で開催されることになりました。

九州でこの大会が開催されるのは2回目となりますが、町村での開催は全国で玖珠町が初めてとなります。大会の成功に向けて、支援の取り組みを進めたいと考えています。

さて、今年は「寅年」です。故事で「虎は千里往って千里還る」と言われ、まさに行動力の高さが求められています。

「夢・未来を創生する」を合言葉に、多くの若者が集い、活力ある玖珠町をめざしていきたいと考えています。

皆様にとりまして、今年が希望に満ちた良き一年となりますよう、また「心をひとつに、新しい明日へ」一緒に全力で走ってまいりたいと存じます。

新年のごあいさつ

新

年あけましておめでとうございます。
玖珠町議会を代表してご挨拶を申し上げます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎え、健やかにお過ごしのことと、心からお慶び申し上げます。

皆様には、日頃より玖珠町議会に対する暖かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が年末年始にかけて第三波をむかえ、その後、第四波・第五波の到来で（10月までに数名の感染者が確認されました）飲食店では、営業時間短縮の要請が行われ、経済活動を著しく低下させました。また、学校教育の在り方も変化を余儀なくされ、ICTの活用が必要不可欠となっています。

このようななか、5月末からのワクチン集団接種、令和2年7月豪雨災害

での被害現場の早期復旧など、執行部との議論を交わすなかで、新型コロナウイルス感染症のまん延や、災害を心配することの無い日常が、どれほど大切で、幸せなのかを痛感させられました。

玖珠町議会では、昨年の六月議会よりタブレットを導入しペーパーレス化に取り組むと同時に開かれた議会運営を目指し、映像による議会録画中継を配信してまいりました。

今後、新しい生活様式の定着や複雑・多様化する諸課題に対応するため、議会における政策立案機能の強化、活気ある地方議会を創り上げることが必要であると考えているところです。

昨年11月に、新型コロナウイルスワクチンの3回目となる追加接種の実施について、国からの方針が示されました。本町におきましても、追加接種の体制を整え、接種が始まりました。

今年こそは、経済活動がコロナ前の水準に戻り、平穏な暮らしを取り戻して、ご家族おそろいで、楽しく活気あふれる年になることをお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。

玖珠町議会議長 大野元秀

